

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

## 事業名【新】デジタルインボイス活用モデル推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

産業デジタル推進課 産業デジタル係 電話番号：058-272-1111(内3725)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 35,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	35,000	0	0	0	0	0	0	0	35,000
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

中小・零細企業は恒常的な人材不足となっており、業務効率化が必要であるにも関わらず、

- ①業務で利用される情報が紙ベースであり、デジタル化されていない
- ②デジタル化された情報であったとしても、業務フェーズ毎に分断された情報を用いるために、都度入力や突合を複数回にわたって実施している
- ③手作業によるミスが発生した場合、また、不明箇所が発生した場合にリカバリーや調査に相当な時間や手間がかかり業務を圧迫している
- ④2023年10月からのインボイス制度および2024年1月からの電子帳簿保存法への対応の遅れ

といった課題が多くみられる。

こうしたことから、「受発注」、「インボイスの発行」から「決済」までの一連の業務のデジタル化と、データ連携による自動処理による県内中小・零細企業の業務効率化を図る必要がある

## (2) 事業内容

- Web-EDI(電子受発注)を活用したデジタルインボイスの発行に対応したシステム開発を補助
- 金融機関システムと連携した振込手続きの簡略化にかかるシステム改修を補助

### (3) 県負担・補助率の考え方

デジタル技術を活用して県内中小企業の課題解決を図り、業務効率化と従業員の働き方改革につながることから、これを県が支援する必要がある

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	35,000	(公財) ソフトピアジャパン 内容：モデル事業を展開する事業者へのシステム開発費補助金
合計	35,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

<岐阜県DX推進計画>

- ・各分野のDX 産業・雇用 「デジタル技術の活用による生産性向上等の支援」

### (2) 国・他県の状況

### (3) 後年度の財政負担

- ・なし。

### (4) 事業主体及びその妥当性

(公財) ソフトピアジャパン

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

**(事業内容)**

補助事業名	デジタルインボイス活用モデル推進事業費補助金
補助事業者（団体）	（公財）ソフトピアジャパン （理由）
補助事業の概要	（目的） （内容） ・Web-EDI（電子受発注）を活用したデジタルインボイスの発行に対応したシステム開発を補助 ・金融機関システムと連携した振込手続きの簡略化にかかるシステム改修を補助
補助率・補助単価等	定率 （内容） 10 / 10 （理由） デジタルインボイスを活用し、企業の業務効率化を図るモデル事業であるため
補助効果	
終期の設定	終期 令和5年度 （理由） 本年度限りのモデル事業であるため

**(事業目標)**

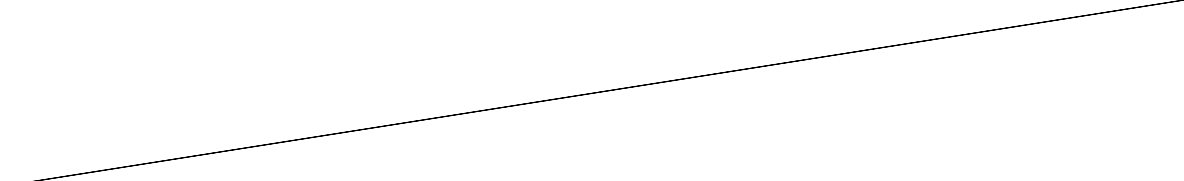
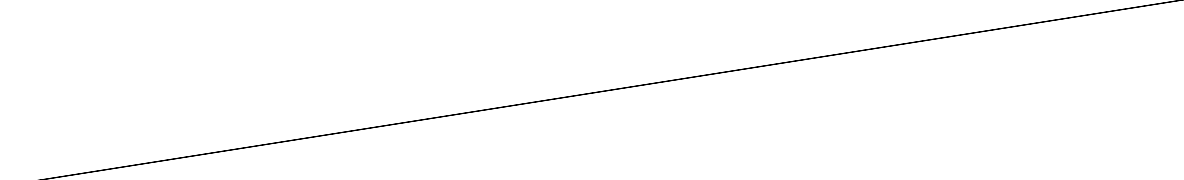
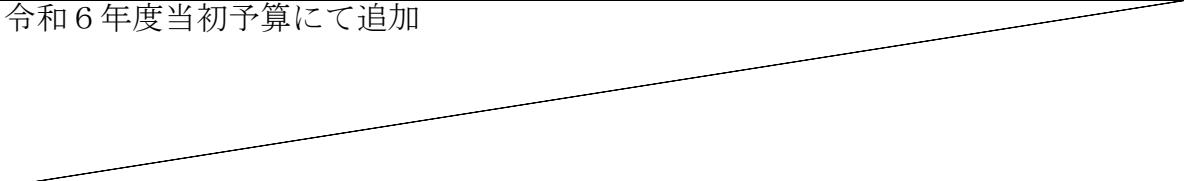
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</li> <li>・ 発注企業、受注企業双方の業務効率化、従業員の働き方改革の促進</li> <li>・ 県内中小企業のインボイス、電子帳簿保存法への対応促進</li> </ul>
--

**(目標の達成度を示す指標と実績)**

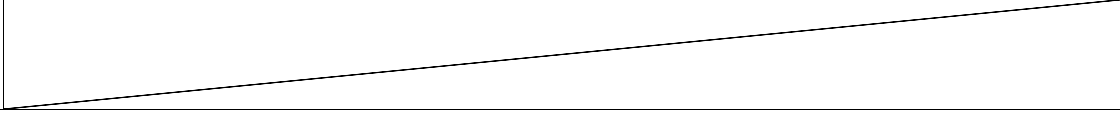
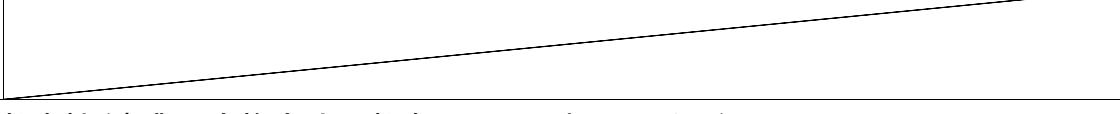
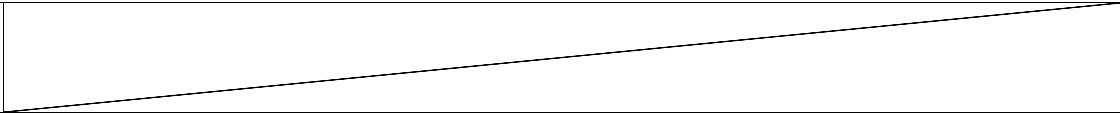
指標名	事業開始前 (R4)	R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	終期目標 (R5)	達成率
	①モデル事業におけるデジタルインボイス発行企業数	0	-	-	100	

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加  指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--